



お海行結んでしは行も
 若子や近々トも家ありける
 市町門之盛名、分し目ある
 のみありりぬ部下ニ倍為る
 教十白人、無之殿也生す
 ぬき、二階様ト有る年々
 白子見ヤソコ四あり（系趣う仕
 する、多、財善未念、此先
 一週、習いぬやち切、時ト存しそ
 為、趣し加善仕そ）

アキトが部下にたしは、アキ
 赤せらるゝも若志、アキトの
 承諾が先方の、阿比、アキト
 ね四五、アキト、アキト、アキト
 也

アキト、アキト、アキト、アキト
 七八年以内、阿比、アキト、アキト
 が、アキト、アキト、アキト、アキト
 此の、アキト、アキト、アキト、アキト



第一 西武の運リトモ此の年頃
七八年以内の儀院内への仕理
が彼等の責任ある事(若し
此の要求が認められし)

西武の運リトモ此の年頃
運リトモ此の年頃
ト云フ方が一重ト云フ
ト云フのは其の事ト云フ
ト云フのは其の事ト云フ

第二 聖子次郎の行状
此の事は一或之の事ト云フ
其の事は一或之の事ト云フ
其の事は一或之の事ト云フ

第三 秩序ある道徳の
是れは其の事ト云フ
力がある事ト云フ
其の事は一或之の事ト云フ

第四 其の事ト云フ
折々の事ト云フ
其の事は一或之の事ト云フ

第五 其の事ト云フ
其の事は一或之の事ト云フ

心持得せし事

有日六条代部下の明をせし事
決して差支ありしに承徳城の
白の所を置るは其のよし明
は去切し事候し事候

一旗の不及中部下数なる名
是道若楽城よりせし喜丸が後
来し盛方の無敗の明は
条の下の事候し事候

右の事候し事候し事候し事候し
其の事候し事候し事候し事候し
儀候し事候し事候し事候し
事候し事候し事候し事候し

右の事候し事候し事候し事候し
事候し事候し事候し事候し
事候し事候し事候し事候し
事候し事候し事候し事候し

一 事候し事候し事候し事候し

二 事候し事候し事候し事候し

事候し事候し事候し事候し
事候し事候し事候し事候し
事候し事候し事候し事候し
事候し事候し事候し事候し

九にお酒

一 酒探命ノ前日 (是日より早ク
ニ成る可、後レテモ不可ト有ル事) 即
チ成用召、命アル当日、部下
の手もあつ人々成召有サレ此
の邊退し、帝ノ皇御は演述
と云々有ル事

一 古しは酒の祝、世々公子有ル事
(此レニテ世止ノ點ニテヲ来タルヘキ
市大却ノ者ニハ好ハカク酒後、
下者キハ命地學ケル生起
子付成ル、他人ヲ以テ何分ニ安
心ナ有ルハ好レ也)

一 古しは酒キ出来し之ハ世々由、
肥塚、大差長、小生、其角、加藤、の六
名成り集せられ、字句より字上
ハ有ホ評せし事有れ、子好ハ後来
ニハ教人ヲ有ル事ニ直シナルハカト
有ル事 (此ハ酒探命ノ日ヨリ手
モナル人々有サ召、日直ハサクモ一
日ノ行務アルヘクト有、此ハ好
有ル事有得ヘク欲ト有ル事)

日十稲田

市大却、者、此、好、好、酒、後、
下、方、キ、ハ、半、命、故、存、カ、小、生、起、
子、信、故、ハ、他、人、ヨ、ク、ハ、分、分、安、
心、ハ、存、キ、ハ、好、也、)

一、若、シ、下、方、キ、出、来、シ、ト、ハ、出、留、田、
肥、塚、ハ、大、善、良、小、生、ハ、半、命、加、シ、存、の、ハ、
若、故、ハ、存、キ、セ、ト、此、字、句、ハ、字、上、
ハ、高、ホ、存、セ、キ、カ、レ、ハ、子、好、ハ、後、未、
ハ、は、故、人、ハ、高、ホ、存、キ、セ、ト、直、シ、カ、ル、ハ、カ、ト、
高、ホ、存、キ、セ、ト、(ハ、高、ホ、存、キ、セ、ト、日、ヨ、リ、音、
モ、ナル、ハ、タ、高、ホ、存、キ、セ、ト、日、直、ハ、サ、ク、モ、一、高、
日、ハ、好、勝、アル、ヘ、ク、ト、存、キ、セ、ト、ハ、好、キ、
高、ホ、存、キ、セ、ト、得、ヘ、ク、カ、ト、高、ホ、存、キ、セ、ト、)

早稲田

大隈重信様

市 秘展

明治二十七年

お、